三面鏡の戯(たわむ)れ

池上遼一

クラシック音楽
珈琲
ハムレット
どうぞ
お二階へ
……
キュッ
ギュッ

ラララララン

よいしょっと
ストッ

きょろ
ええっと まだ……
きょろの

来てない……ねっと
きょろっ

はっ

来てるじゃない！どうして気づかなかったのかしら

なるほど………
気づかないのも無理ないわ

あの向いに坐ってるオンナは
!?
何に……
あ、僕レモンジュース
あなたは……
うう……うんいいの私……
そのかわり…………
ツン
じ〜っ

誠のやつ
デートの
約束して
おきながら

他の
オンナと
ウツツを
ぬかして
いる

あっ

ウ～ッ

チュー
チュー
チュー

チュー
チュー

ぽ～
フー
フー

ちらっ

ああ！

タタタタタン
純子さん？
おろおろっ
そうよ きのう デートの 約束をした 狐乙女純子！

まさか??
なんですって?
ひょい
まっ!
じゅん純子さんが二人……!?
ドタドタ
ドドドドーン
かっかっ
ヒラヒラ

こんなバカな

はっきりして下さい双生児でも姉妹でもないとするとどっちか純子さんなんだ

誠ッあんた私を憶えてないの！私が狐乙女純子よ
ニコ！

ああんしくしく誠さん私こそ正真正銘の純子よお

ほんとにわからなくなってきた

目尻のホクロも同じ……女性的で……そうだ

きのうまでの純子さんは美しくまったく純情で献身的な僕の理想とすべてが一致していた
……とすると……

しくしくやっている方が本当の純子さんなのかも知れない

ちょっとお暖房ききすぎてると思わない私ビール飲みたいわあ

うむ
これで
はっきりした
シクシクの方
がホンモノだ

純子さん、
女性の酔払い
ほど嫌なものは
ないとよく
言ってたからな

それにしても
わからん
バストまで
ほぼ同じ
だなんて
きらり

トクトク

さ、誠も
飲もうよ

あ、
どうも
フフン
騙される
もんかこの
ニセ純子

せっかく
ふたりだけの
ムードを
あじわい
かけたのに
ねえ
ホンモノの
純子さん

あの
私にも
ビール
いただけ
ます……

ぎょぎょっ

なんだか
酔いたい
わ

酒場と
間違えてん
じゃないの
あそこ
……J・S・バッハ
の
トッカータと
フーガ……
ニ短調……
あ～あ
クラシックって
つまんないわ
こうなんて
いうのかなあ
GOGOみ
たいに……
そうよ
パンチのきいた
バッと
こうバッ…
パッと
ああ
ついに
わからなく
なってて
きた
あんた
私にも
モク
ちょう
だい
悲劇の
デブッチョ
ビールもう
一本追加
よ！

フン
なにさ
ピシ ピシ
ぶる ぶる
怒りを抑えているふるえ →

純子さんはクラシックってこころを落着かせてくれるから好きだってって言ってたくせに

これじゃあ二人ともニセモノみたいじゃないか

さっきからやることなすこと理想像の純子さんとはまるで反対だ

ああ きのうまで愛してきた純子さんはこの二人のイメージとはまったく異質のものだった……

そうだ!

思い出した 忘れがたき初恋の夜の思い出!

なによお 急に大きな声なんか出して

二人の純子さん!
すっく
ぴくん

どちらがホンモノの純子さんなのか断定できる証拠を思い出しましたよ

これだけは絶対偽りのきかない証拠です
←よだれ

だからなによお
はやく、言いなよ

イシシシい、言いますよ
ぽし
でれでれ

あの初恋の夜純子さんは確か包丁で小指を少し傷つけていた

あの時僕ぁその傷口を……そっと……な……なななめて…だだから憶えているんだ！

さあ見せて下さい！

ホンモノだったらその傷がわずかでも残っているはずです

あるわよ
さっ

私だってあるわ小指の想い出

ストーン

コトン
ああ……
これは一体どういう事なんだ
小指の思い出まで同じとは世の中にこんなに相似形の他人がいるだろうか
誠のメガネオーソドックスねえ
へらへら
それはそうとあんたが先回りしているとは驚いたわ……
きのうは僕のこと真面目だから素敵だって言ってたのに
僕ぁ悪夢を見ているのか
タラララ
ドバババン
そうだその悪夢のなかで僕は

んに
れて
た

裏切られる
原因がなんにも
ないのは夢だからだ

私こそ最初から世をすねた偽りのないオンナ

にんまり

二人はもう帰ったわよ学生さん

やはり現実だったのか……

ああもう僕ぁ女性なんて絶対に信じなーい

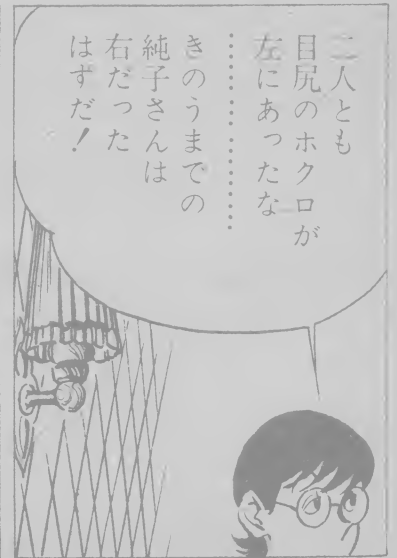
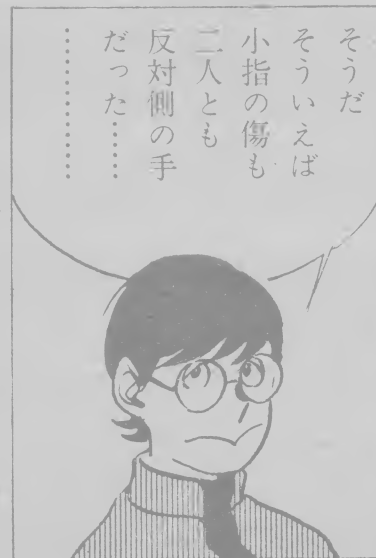
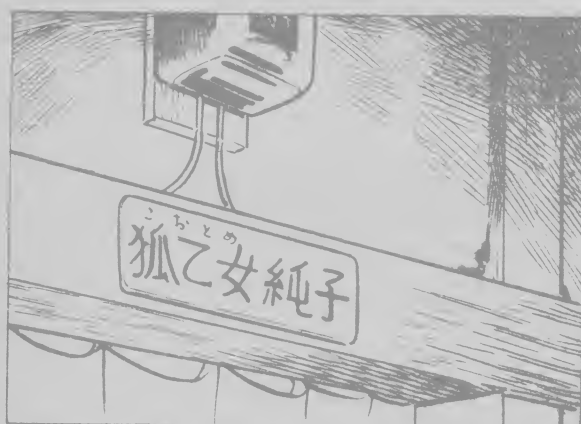
じろり

ニキビ面のバカヤロ……はっニキビ……ホクロ

二人とも目尻のホクロが左にあったな……
きのうまでの純子さんは右だったはずだ！

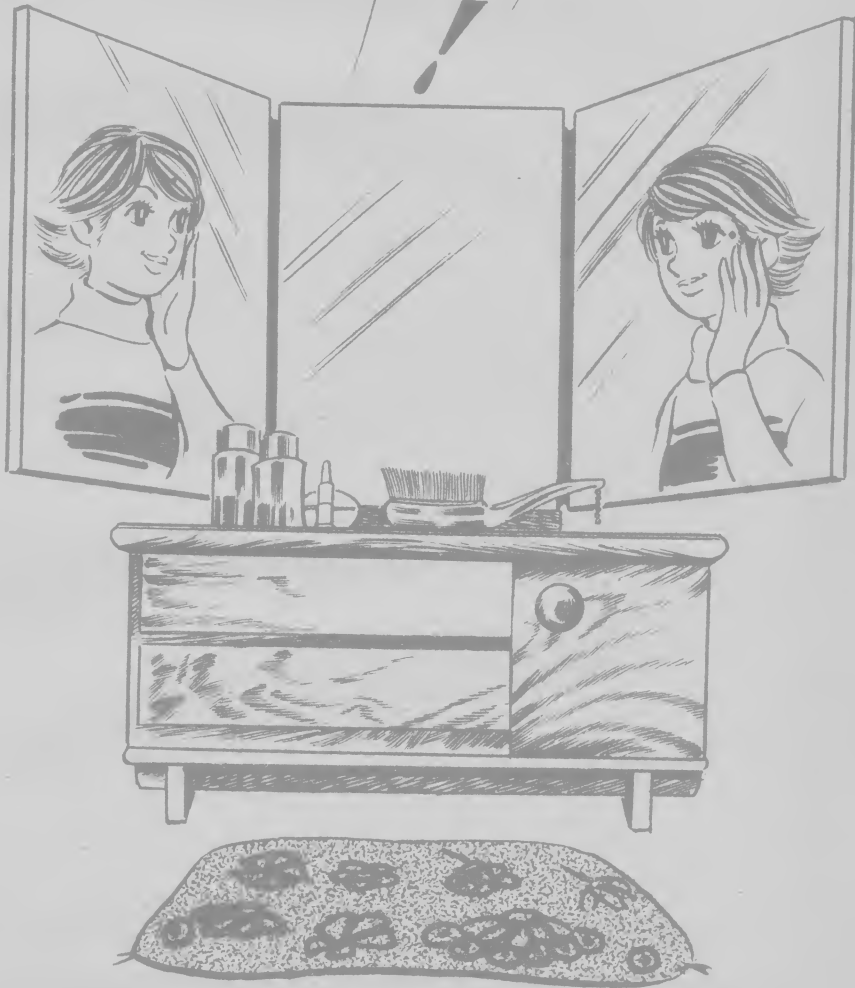
そうだ そういえば小指の傷も二人とも反対側の手だった………

するとあの二人は一体……??

某化粧品株式会社　女子寮

二時間も
遅れちゃった
…………
でも…………
彼真面目
だから……

完

1967・7

読者サロン

日常の意識をひっくり返せ

日本醤油協会従業員一同（東京）

私たちは「ガロ」創刊以来の読者です。そこで一言苦情を申しのべなくては、と「ガロ」10月号を読んで思ったわけです。というのは、最近の「ガロ」は、「カムイ伝」と水木氏のものをのぞいて、見るべきものがない、いやないばかりではなく、まるで意味のとれないマンガが非常に多いということです。

白土氏の個人雑誌ならいざしらず、仮りにも金一五〇円をとってマンガを売っている以上、いくらなんでもサイテイです。応募広告には独創性をまず第一に考えるという意味のことが書いてありますが、独創は人に理解されなくてもいい、ということではないはずです。

独創性のあるマンガ（マンガに限らないかもしれない）は、やはり人間の日常の意識を革命的にひっくりかえすものであって、独創の独創たるゆえんはそこにあります。ですが、最近のマンガはひどい。意識がひっくりかえる前に、目玉がひっくりかえり、首は自然に首をかしげます。これではマイッタマイッタというところ。とにかく、もう少し、しっかりほねのあるのをのせて下さい。期待しています。

より大胆な試行錯誤を

川野　緑（大阪）

毎月「ガロ」を期待をもって読ませていただいております。ですが近頃の「ガロ」は、以前にくらべると内容、質とも後退しているように思えてなりません。「より優れた作品を多く世の中に送り出す事をガロのレーゾン・デートルとして……云々」という編集姿勢に感激していた私ですが、近頃の「ガロ」はどうしたというのでしょうか？

新人作家の入選作品のなかに〝これは優れている〟と思えるものにお目にかかれません。新人作品だけでなく、他の方々の中にも未消化の内容が多々見うけられます。幼稚で拙劣なSFまがいの子供騙しの感のする作品ばかり、〝ああ「ガロ」も地に落ちた〟の感が強く、私を失望させるばかりです。

いまの状態は、少年向けマンガよりも絵も下手であるという以上に何のとりえがあるというのでしょうか？　以前の一見〝八方破れ〟的なおもしろさをそなえていた「ガロ」は一体何処へいってしまったのでしょう。現在のマンネリを打開していくには、より大胆な試行錯誤をつづけることではないかと思います。現在の「ガロ」に安住しているかぎり、マンガは少しの進歩も見出せないと考えるのですが、いかがでしょうか。「ガロ」に新風を送り込んで下さるよう希望します。

自称〝日本一「ガロ」を愛する読者〟

▼編集部から……

「読者サロン」へのご投稿は、なるべく一〇〇〇字以内でお願いします。掲載分には薄謝を呈します